

Japanese A: literature – Higher level – Paper 2
Japonais A : littérature – Niveau supérieur – Épreuve 2
Japonés A: literatura – Nivel superior – Prueba 2

Thursday 5 May 2016 (afternoon)
Jeudi 5 mai 2016 (après-midi)
Jueves 5 de mayo de 2016 (tarde)

2 hours / 2 heures / 2 horas

Instructions to candidates

- Do not open this examination paper until instructed to do so.
- Answer one essay question only. You must base your answer on at least two of the part 3 works you have studied and compare and contrast these works in response to the question. Answers which are not based on a discussion of at least two part 3 works will not score high marks.
- You are not permitted to bring copies of the works you have studied into the examination room.
- The maximum mark for this examination paper is **[25 marks]**.

Instructions destinées aux candidats

- N'ouvrez pas cette épreuve avant d'y être autorisé(e).
- Traitez un seul sujet de composition. En basant votre réponse sur au moins deux des œuvres de la troisième partie que vous avez étudiées, vous devez comparer et opposer ces œuvres dans le cadre du sujet. Les réponses qui ne sont pas basées sur au moins deux des œuvres de la troisième partie n'obtiendront pas une note élevée.
- Vous n'êtes pas autorisé(e) à apporter des exemplaires des œuvres que vous avez étudiées dans la salle d'examen.
- Le nombre maximum de points pour cette épreuve d'examen est de **[25 points]**.

Instrucciones para los alumnos

- No abra esta prueba hasta que se lo autoricen.
- Conteste una sola pregunta de redacción. Base su respuesta en al menos dos de las obras estudiadas de la parte 3, comparándolas y contrastándolas en relación con la pregunta. Las respuestas que no se basen en al menos dos obras de la parte 3 no recibirán una puntuación alta.
- No está permitido traer copias de las obras estudiadas a la sala de examen.
- La puntuación máxima para esta prueba de examen es **[25 puntos]**.

次の問題から**1つ**を選んで、小論文を書きなさい。その際、「パート3：ジャンル別学習」で学んだ、**少なくとも2作品**に言及しなさい。パート3の2作品を使用していない場合は減点となります。なお、小論文を書くにあたっては、必ず作品の類似点と相違点を**比較・対比**すること。

物語・小説

1. 物語や小説内でよく見られるレトリック法として、省略があげられます。例えば、主題に関する重要な出来事などが作品の中では書かれておらず、読者の解釈にゆだねられている場合などです。少なくとも**2つ**の作品を比較・対比しながら、具体例をあげてその技法と効果について論じなさい。
2. 少なくとも**2つ**の作品を比較・対比し、物語や小説の最後のシーンがどのように表現され、また、それがどのような効果をもたらしているかを具体例に言及しながら論じなさい。
3. 物語や小説において、「テンポが速い」作品と「テンポが遅い」作品があります。また、同じ作品の中でも、「テンポが速い」部分と「テンポが遅い」部分がある場合もあります。これらの速さの違いはどのように作り上げられていると考えるか、少なくとも**2つ**の作品を比較・対比しながら、具体例をあげて論じなさい。

随筆・評論

4. 物語や小説では架空の世界について語られることが多い一方で、随筆や評論作品では実存の世界について語られる傾向があります。少なくとも**2つ**の作品を比較・対比し、実存の世界がどのように描かれているかを具体例に言及しながら論じなさい。
5. 抽象的な事柄を扱う評論や随筆は難解な文章になりがちです。作者はこの抽象的な事柄を明快にするために、書き方にどのような工夫をしていますか。少なくとも**2つ**の作品を比較・対比しながら、具体例をあげて論じなさい。
6. 随筆・評論には、**2つ**のものを対比させながら展開していく作品が多くあります。少なくとも**2つ**の作品を比較・対比しながら、具体例をあげてその技法と効果について論じなさい。

詩歌

7. あなたが学習した詩では、語り手がどのように設定されていましたか。少なくとも2人の詩人の作品を比較・対比しながら、具体例をあげてその意図と効果について論じなさい。
8. 詩には比喩がよく用いられます。少なくとも2人の詩人の作品を比較・対比しながら、具体例をあげてその意図と効果について論じなさい。
9. 「詩人は文法にとらわれ過ぎなくてもいい」という意見に賛成しますか。少なくとも2人の詩人の作品を比較・対比し、具体例に言及しながら考えるところを述べなさい。

戯曲

10. 戯曲内で、主題と平行して副主題が隠されている場合があります。戯曲家は、これらの副主題をどのような手法で表現しているのでしょうか。少なくとも2つの作品を比較・対比し、具体例に言及しながら考えるところを述べなさい。
 11. 戯曲の時代背景は、観客にどのように伝えられるのでしょうか。少なくとも2つの作品を比較・対比しながら、具体例をあげてその手法と効果について論じなさい。
 12. 戯曲作品では、対立・葛藤というテーマが様々な形で取り上げられています。少なくとも2つの作品を比較・対比しながら、具体例をあげてその効果について論じなさい。
-